

<b>授業科目名</b> <英訳>		ゲノム科学と医療 Genome Science and Medicine		<b>担当者所属・ 職名・氏名</b>		医学研究科 教授 松田 文彦 医学研究科 准教授 田原 康玄					
<b>配当 学年</b>	専門職	<b>単位数</b>	2	<b>開講年度・ 開講期</b>	2016・ 後期	<b>曜時限</b>	木3	<b>授業 形態</b>	講義	<b>使用 言語</b>	日本語及び英語
<b>[授業の概要・目的]</b>											
本講義の目的は、ゲノム科学の発展が21世紀の医学研究や医療にいかなるインパクトを与えるのかを理解することにある。生命科学の歴史の中でゲノム科学に携わっている研究者の研究成果が何を生み出してきたか、また将来何を生み出しうるのかを理解し、またその医学への応用について学ぶことを最重要目標とする。「予防医学の時代」と言われている21世紀の医学・医療の中でゲノム解析の果たす役割や今後のゲノム医学のあるべき姿を、少人数学習による講義とディスカッションを通して考える。											
<b>[到達目標]</b>											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲノム医学およびゲノム研究の重要性に対する正しい理解</li> <li>・研究成果が与える社会への影響の把握</li> <li>・ゲノム医学研究の推進のための最新技術に関わる基礎知識の修得</li> </ul>											
<b>[授業計画と内容]</b>											
10月6日ゲノム医学とは (田原康玄) 10月13日ゲノム医学の最新技術～ゲノム解析 (日笠幸一郎) 10月20日分子生物学の歩みと医学への応用 (寺西 豊) 10月27日ゲノム医学の最新技術～オミックス解析 (佐藤孝明) 11月3日文化の日 11月10日疾患の遺伝要因の解析～家系によるアプローチ (小泉昭夫) 11月17日ゲノムと医療情報 (山口 泉) 11月24日疾患の遺伝要因の解析～複合遺伝性疾患 (三木哲郎) 12月1日科学研究の成果をいかに伝えるか1 (村中璃子) 12月8日 [12月1日の4限に実施] 12月15日科学研究の成果をいかに伝えるか2 (村中璃子) 12月22日 [12月15日の4限に実施] 1月5日慢性疾患とコホート研究 (田原康玄) 1月12日ゲノムコホート研究 (松田文彦) 1月19日試験  <b>【注 意】</b> 12月1日、15日は3～4時限に開講  <b>【講義室】</b> 南部総合研究棟1階 セミナー室3 (下記以外) G棟2階 セミナー室B (11月10日)  <b>【担当者】</b> 松田文彦・三木哲郎・田原康玄・山口 泉・日笠幸一郎：ゲノム医学センター 村中璃子：ゲノム医学センター非常勤講師 寺西 豊：産学連携推進機構											
----- ゲノム科学と医療(2)へ続く ↓ ↓ ↓											

## ゲノム科学と医療(2)

小泉昭夫：環境衛生学  
佐藤孝明：島津製作所

### [履修要件]

統計遺伝学基礎I・IIの履修を強く推奨する

### [成績評価の方法・観点及び達成度]

- ・ 講義における意見表明の態度
- ・ 講義期間中に実施するレポート
- ・ 講義内容に関する試験を実施する場合がある

### [教科書]

参考資料は講義の中で適時配布  
推奨テキスト：Human Molecular Genetics, 3rd edition, 2010

### [参考書等]

#### (参考書)

授業中に紹介する

### [授業外学習（予習・復習）等]

配付資料を活用した復習を主体に行うこと。

### (その他（オフィスアワー等）)

講義の途中における質問はもちろんのこと、課外時間での担当教員への訪問等も大いに歓迎する。

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。